

(公民館だより)

広報 ひがしの

No.137
2014. 1.15

人口 1,770 人
(男) 865 人
(女) 905 人
世帯数戸
610 世帯
(H26.1.1 現在)



水墨画による

楽しい墨絵の会 永野 司 画

新年、明けましておめでとございます。本年も、よろしくお願いいたします。

1月1日(元旦)、今年も東野八社巡りに行ってきた。昨年末、回覧にて一緒に巡って頂ける方を募ったところ、生憎の小雨模様にもかかわらず6名の方が参加して下さいました。出来れば、新年の恒例行事に行きたいと思ひます。次ページにて八社の由緒由来など記載しましたので、ご参照下さい。

正月料理と言へば!

家族形態の変化や物流の変化などから、伝統が薄れつつありますが、正月の食事にはさまざまな願いが込められています。皆さん存じの事ばかりですが、その由来を改めてふり返ってみたいと思ひます。

・お屠蘇(とそ)

「屠蘇」とは本来、「蘇」という鬼を屠(ほつ)る(殺す)「と」ということだと言われ、邪気払い・無病息災を願ひ、年少者から順に飲みます。

・雑煮

本来は、神様に供えた山・海・畑の産物のお下がりを「つた煮(雑煮)」にしたもので、旧年の収穫や無事に感謝し、新年の豊作や家内安全を祈るもの。

・おせち

おせち(御節)料理。もともとはお正月だけでなく、五節句(元旦・ひな祭り・端午の節句・七夕・重陽)に食べられたですが、現在ではお正月の料理となっています。願い料理として「五穀豊稔」「家族の安全」「子孫繁栄」などたくさん願いが込められています。

《杏の重》このほか、口取りを入れます。

数の子・卵の数が多く、子孫繁栄を願う。

黒豆・まめに暮らせるように、魔除け。

田作り・豊作を祈願

紅白かまぼこ・日の出に似ているため、紅は魔よけ

白は清浄の意味もあり。

くりきんとん・「栗金団」という字から金運を願う。だて巻き・巻物に似た形をしており、学業成就の願いが込められている。

《二の重》ここには焼き魚が入ります。

鯛・縁起物の定番。「メテタイ」から入れます。

海老・腰が曲がるまで長生き出来るようにと。

フリ・出世魚、出世を祈願して。

《参の重》ここには煮物が入ります。

さといも・小芋をたくさんつけることから、子宝に恵まれますように。

れんこん・先の事を見通せるように。

くわい・最初に一本芽がでるので、縁起物として。

昆布巻き・「よういぶ」の語呂合わせから。

最近では、家庭で作ることが少なく、スーパーなどで買う家庭が増えました。

・とうろ汁

全国的には、「三日とうろ」として1月3日に食べる

ところが多い様ですが、我が家では2日の朝に食べます。長生きするとか、一年風邪をひかないとかの謂われはあるようですが、山芋には整腸作用や滋養強壮作用があるとされ、お節料理のこうそうに疲れた胃をいたわり、仕事始めに備えた体力作りに功を奏してくれる風習です。

とんと焼き

歳神の送り火、または子宝や養蚕繁盛の祈願の意味もあるようです。

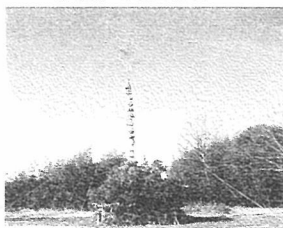
また、とんどの火で焼いた団子を食べると虫歯にならない。火にあたると、この1年「無病息災」で過ごすことが出来る。書き初めを神火で焼いて、高く上がると「習字が上手になる」。などの言い習わしもあるようです。

以前は、東野のほとんどの地区で見ることができましたが、子どもの少なくなった昨今は見られる数が減ってしまいました。

白坂のとんと



中辻のとんと



文芸

○花無山句会

市川 芳子

・十二月やらねばならぬ事多し

内木 伊都子

・山畑の畝を正して葱太し

西尾 美恵子

・贈られし胴着安らぐ余生かな

松本 はるか

・八丁味噌老舗を訪ふや蔵冷ゆる

千藤 恵三

・猪鍋や田畑荒らした猪なるか

○サークル短歌

鈴木 喜一郎

・真夏日に卵黄のごとき太陽が

光を連れて地中に沈む

・一日を寡黙に過しし夕方の

林檎は紅き色から噛る

市川 茂子

・倒れたる稲四株の穂を上げて

東ねゆきたり長靴はきて

・草を刈り土を耕す西瓜畑

赤玉黄玉たくさん食べし

赤尾 袈夫

・蠅叩き妻より受けて蜜蜂の

巣箱へ急ぐ赤蜂追わな

・伐採の松の木っ端拾い来て

花台にしおりあげびを飾る

八社巡り

東野に鎮座する八坂・広田・白山・度会・鷺尾・若宮・貴船の七社に大井町武並神社を加え八社とし、八社巡りが行なわれる事があった。

これは子供が生まれた際の初宮参り、正月の初参りとか、大戦中の戦勝祈願としておこなわれたもので、早朝に家を出発しほとんど半日がかりであったという。武並神社 東野ではないが、戦前からずーと郷社として東野の人々にもなじみの深い神社だった。この神官は、神官のいない東野の六社を管理し、祭祀の際には出向いて行った。東野各社の神社明細帳の資料は当社保管のものを使用させて頂いている。

「恵那市東野の民俗」より

八坂神社（やさかじんじや）

主祭神 速須佐之男命（すさのおのみこと）

撰末社祭神

由緒由来 1491年

延徳三年六月創祀。深森鬱樹木密樹木森々山色玲瓏、奇峰擁し、就中三株の霊木有り。是を鎌倉杉と号す。茲に稀有かな、白幣降り一樹に懸かる。此処を以て奉遷、速須佐之男命之身体来所、延徳三年六月創立寛文五年再建。

広田神社（ひろたじんじや）

主祭神 神功皇后（じんぐうこうこう）

撰末社祭神

由緒由来 1671年

寛文十一年九月創祀古老の口碑に宇参宮沢に小社寛文十一年九月洪水の節、山崩流失。宇前山三川中に止まるを奉勧請。明治六年再興す。

白山神社（はくさんじんじや）

主祭神 伊邪那岐命（いざなぎのみこと）

撰末社祭神

由緒由来 1660年

万治三年三月信徒十二人にて奉勧請。天明八年十一月再建。

度会神社（わたらいじんじや）

主祭神 天照皇大神（あまてらすすめおおかみ）

撰末社祭神

由緒由来 1492年

明応元年三月寛文十一年九月創祀。從昔年無小松二株有り。名を伊勢松と名づく。是千歳の春秋霜日月其の精霊を負ひて無言なる計り。古松と成り、村に何某なる者有りて神祇官に訟して則ち詔有り。明応元年春三月天照皇大神勧請奉り、天下泰平五穀豊穰の成就を祈る。（神社明細帳より写す）渡會神社は徳川時代の古来から食物を掌る稲の神生産の神を祭り、「宇迦魂社」または「神明社」と称して有りし処、明治八年に至り我が国の大親神天照皇大神を合祀して、渡會神社と称すると云ふ伝言あり。

鷺尾神社（わしおじんじや）

主祭神 鷺尾神（わしおのかみ）

撰末社祭神

由緒由来 未詳

創祀未詳なれども、古老口碑に曰く、往昔鎌倉頼朝の時代に鷺尾十郎為義と云ふ人あり。源義経の臣となりしが、後に当村に至り、亡くなる。人は是を鷺尾神と称し奉斎す。

貴船神社（きふねじんじや）

主祭神 速秋津日子神（はやあきつひこのかみ）

撰末社祭神 仁明天皇（にんみんあめ）

由緒由来 1665年

寛文五年信徒三十人にて寄進勧請。

若宮神社（わかみやじんじや）

由緒由来 1686年

貞享3年11月奉創立、明治元年11月障陰に願済の上貴船神社境内へ移

武並神社（たけなみじんじや）

主祭神 大己貴命（おおなむちのみこと）

譽田別命（こんだわけのみこと）

少彦名命（すくなひこなのみこと）

撰末社祭神

由緒由来 創建不詳 1220年再興

承久二年春再興。創建不詳と雖も旧記に依れば承久二年の春新田四郎左エ門尉源義清其宗子淡路守義綱の再興する処にして其の際鎌倉幕府三將軍の像を相殿に併祭す。其の後永祿七年三月本殿を再建す。爾後星霜を経て社殿大壊す。明暦元年に至り、神林の一樹を伐て官路橋梁の材となす。之に因りて該時領主黄金半鎰を給ふ。増殖の法を設けて十有余年を経、寛文十一年冬郷党議を社殿を修繕すると云ふ。今現存するもの之なり。

岐阜県神社庁ホームページを参照しました。

平成25年に東野地域で実施された主な行事をふり返ってみました。
残念ながら、台風の影響で敬老会と住民ふれあい体育祭は中止となってしまいました。

1月

- ・東野ふるさと作品展(書初め展)
- ・根/上高原大とんどやき



2月

- ・ホタルの里づくり



3月

- ・小学校・幼稚園
卒業・卒園式



4月

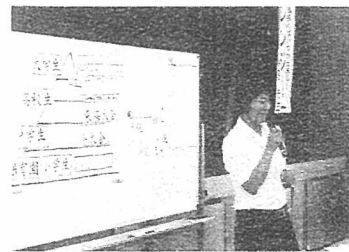
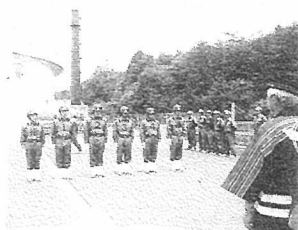
- ・愛林碑祭典・戦没者慰霊祭
- ・小学校・幼稚園 入学・入園式
- ・東雲連合会総会
- ・ダム湖さくら祭り
- ・東野開発振興会総会



5月 ・東野生産森林組合総会

6月

- 恵那市消防協会消防操法大会
- ひがしのほたる祭り



- 7月・8月
- ・夏休み「東野ひとづくり」こども教室
 - ・東野小「夏休み一研究一作品展」
 - ・中嶋寿恵さん講演会と水泳教室
 - ・飯沼川川遊び
 - ・東野納涼夏祭り



9月

- ・防災訓練
- ・みのじのみのり祭りに参加
- ・東野小・幼稚園運動会



10月

- ・東野歌舞伎公演

11月

- 東野文化祭・音楽祭
- 豊受神社・開墾記念碑祭典



12月 ・消防年末夜警

東野民生委員・児童委員協議会よりお知らせ

12月2日(月)東野コミュニティセンターにて、民生委員児童委員と主任児童委員の伝達式があり、東野地域からは6名の方に、厚生労働大臣と県知事の委嘱状が市長から伝達されました。

東野地域の委員さんと担当地域は次の通りです

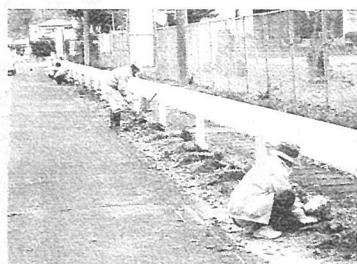
氏名	自治会	電話		担当自治会
遠藤 茂樹	下浜井場	25-2309	民生委員児童委員	小野川, 上・下浜井場, 井の下, 南・北万場, 小麦田, 南中切
松本 広英	北中切	25-2052	〃	中辻, 下辻, 北中切, 白坂, ハートヴィレッジ東野
小泉恵美子	宮の前	26-0881	〃	宮の前, 上・下・南大門, 北山, 東雲アパート
古山 雅恵	上染戸	25-5418	〃	向島, 下沢, 中島, 上・下染戸, 南・北天王前, アルカディア協和
渡辺 弘子	宮の前	26-4851	主任児童委員	東野全域
千藤真理子	南天王前	25-0863	〃	東野全域

民生委員は、次のことを行います。

- ・皆さんが抱える問題について、皆さんの立場で、親身に相談にのります。
- ・私たちのまちにどんな福祉制度や子育て支援サービスがあるか紹介します。また必要なサービスが受けられるよう、関係機関との「つなぎ役」になります。
- ・同じ地域住民の立場に立って、支援を必要とする方々を理解し、人権を尊重して誠意を持って支援します。また民生委員や児童委員は秘密を守ります。



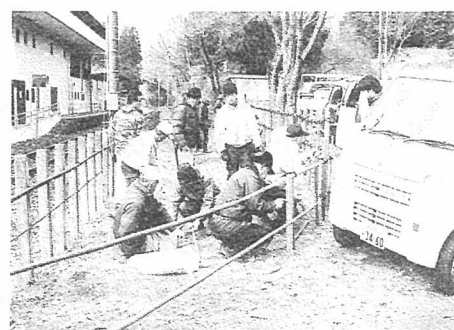
東雲会の皆さん



飯沼川を通じて郷土愛を育てる会の皆さん

東野まちづくり委員会環境美化部会の呼びかけにて、東雲会・退職公務員OB会・飯沼川を通じて郷土愛を育てる会の皆さん参加のもと、明知鉄道東野駅ホーム周辺の環境美化と竹垣の設置をしていただきました。

東野の表玄関である東野駅。きれいにしていただきありがとうございます。



10月31日(木) 地域内3ヶ所の花壇にパンジー700本を植えて下さいました。

この花壇も、東野の主要通り沿いにあるため、地域の方を始めとして道行く人たちの目の保養となっています。

11月26日(火)今年も、小学校西側の県道沿いに、葉牡丹を植えていただきました。

年間を通じて、地域の環境美化に努めていただき、ありがとうございます。



間伐体験

11月22日(金)、東野小学校5年生15名が、花無山にて間伐と枝打ち体験を行いました。

当日は、開始にあたり、東野生森の千藤組合長より、森林の大切さを東濃農林事務所所長藤井さんより間伐の必要性を学びました。

実際の体験では、初めてノコギリを使う子もあり、なかなか思うように伐ることが出来ませんでした。一所懸命に伐った木が倒れると歓声があがっていました。

間伐した木の間からは、まぶしい陽が差し込み、間伐の大切さを実感した瞬間でした。

東野体育協会コーナー

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、東野体育協会の行事にご理解とご協力を賜りありがとうございました。

おかげさまで、平成25年度の行事も無事終わることが出来ました。今後とも、東野体育協会の行事へのご参加やご協力などご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、より多くの住民の方が参加出来るような行事を開催して行きたいと思っておりますので、ご意見やご提案も頂けたらと思います。

さて、平成25年度の活動を振り返ってみますと、恒例の住民大会（マレットゴルフ・インディアカ・レクリエーションバレーボール・ソフトボール）にノルディックウォーキング講習会を開催。加えて、昨年に引き続き、8月8日に東野青少年育成会議と共催で、「多治見西高校水泳部顧問で元水泳のトップ選手である中嶋寿恵さん」をお招きし、講演会と水泳教室を開催しました。

一昨年は、東野出身の元プロ野球選手「伊藤正信さん」、昨年は「中嶋さん」とお二人共に東野出身の方をお招きすることが出来ました。

地元出身の方のお話と指導は、より身近に感じられ、夢と勇気を与えて下さいます。今後においても、可能な限り東野出身の方をお招きし、お話を聴く機会を作って行きたいと思っております。

新しいスポーツへの取り組み等を通じた地域づくりへの貢献と地域住民の方の健康推進と絆づくりが体育協会の果たすべき使命として、今年も会長はじめ役員一同努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

ノルディックウォーキング講習会

十一月十六日（土）好天の中、二十三名の方に参加頂き開催しました。東野まちづくり委員会とのタイアップ行事で、小学校グラウンドでの講習会に引き続き、東野散策マップBコースとCコースのそれぞれ一部を伊藤秀幸先生の史跡解説を聴きながら約2時間かけて歩きました。東野に居ながらも、なかなか巡る機会のない、咳神岩や浜井場の常夜燈などを散策、運動に加え新しい知識を得ることも出来、有意義な講習会でした。



小学校グラウンドにて
ポールを使った正しい
ウォーキングの講習

咳神岩・広田神社 近辺にて



地域の話題続き

豊受神社・開聖記念碑祭典

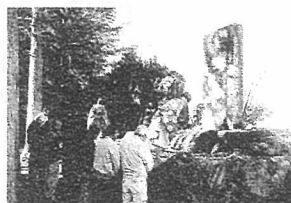
十一月二十三日（土）東野開発振興会主催にて、多くの来賓・地域の方の参列のもと挙行されました。

豊受大神

神名の「ウケ」は食物のことで、食物・穀物を司る神であり、ゆえに五穀豊穡の神とも言われる。

開聖記念碑

東野耕地整理組合の偉業を後世に伝えるため、建立されたもの。詳しくは、新年特別号を参照下さい。



市民三学東野委員会

平成25年も充実した活動を行ってきました。小説「山道」の勉強会、文化祭での特別展「保古用水物語」の展示、東山道御嵩町の布施屋視察と中濃地域での学習会。

12月には、瑞浪市の桜堂薬師と中山道の細久手宿と大湫宿を視察しました。

意外と身近な所にも、歴史的な素晴らしい史跡があることを再認識させられました。



恵那市消防団

東野分団

12月26日、30日まで、年末夜警を実施して下さいました。

地域の火災予防と安全・安心な地域作りに尽力頂きありがとうございます。また、1月5日には恵那市出初式の挙行と本当にご苦勞様でした。

東野地域協議会からのお知らせ

地域の足（移動手段）アンケートの結果について

恵那市が進める地域公共交通の見直しに伴い、東野地域の現状や公共交通に対する希望等を把握するための「地域の足アンケート」を実施しました。

集計の結果、現状の公共交通機関であるバス路線（小野川線）に関しては、9割以上の世帯が利用しておらず、利用していない理由の中心は「バスの本数が少ない」「バス停まで遠い」というものでした。新たな公共交通に対する希望としては「予約すれば家の近く（自治会内）まで来てくれる」という提案に対する意見が最も多く、現状の定時定路線方式ではなく利用しやすい形態への転換が求められていることがわかりました。

*集計結果の詳細については、別紙のアンケート結果集計表をご覧ください。

地域公共交通計画について

12月19日に開催された「恵那市地域公共交通計画会議」において、各地域で検討した内容を基に公共交通計画素案がまとめられました。1月～3月までの間を広く皆さんのご意見を伺う期間（パブリックコメント）として、この素案が恵那市のホームページ等で公表されます。

東野地域としては、上記のアンケート結果を踏まえ、現行のバス路線「小野川線」については、地域の皆さんが利用しやすい運行方法を検討し、平成27年10月までに新規路線運行ができるよう協議を行って行きます。

東野まちづくり委員会活動報告

産業振興部会

- 11月15日より狩猟期間に入りました。また、根ノ上鳥獣保護区域内におけるイノシシ・ニホンジカの有害鳥獣捕獲を実施しています
- 保古の湖周辺の景観整備事業を実施しました
- 根の上高原どんどやきを予定しています（1/26）

教育文化部会

- 第3回ノルディックウォーキング講習会を開催しました（11/16）
- スポーツ振興用の器具庫を東野小学校敷地に設置しました
- 根の上マレットゴルフ場休憩所の改修を実施しました

環境美化部会

- 飯沼川を通じて郷土愛を育てる会による植栽作業を実施しました（11/26）
- 環境美化部会による東野駅周辺の美化作業を実施しました（12/14～15）

公民館よりお知らせ

東野ふるさと作品展の開催について

恒例のふるさと作品展（書き初め展）を
1月10日（金）～1月23日（木）まで、
東野コミュニティセンターロビーにて開催し
ます。

東野小学校全児童と東野在住の東中生徒の
皆さんの力作を是非ご覧下さい。

公民館調理室をきれいにして下さいました。

年末に「虹の会」と「結いの会」の皆さんが、調理室
を清掃して下さいました。とてもきれいになりました。
いつも、清潔に使って頂きありがとうございます。

公民館より休館日のお知らせ

1月

1日（水）～4日（土）・6日（月）・14日（火）・15日（水）
・20日（月）・27日（月）

2月

3日（月）・10日（月）・12日（水）・17日（月）・24日（月）

3月

3日（月）・10日（月）・17日（月）・23日（日）・24日（月）
・31日（月）

都合により変更になる場合もあります。
その時は、公民館入口に掲示します。

コミュニティセンター 駐車場利用 にあたってのお願い

最近、大人数での会議等が
多くなっており、実際の利用
者の方が、車を止めるスペ
ースに困るケースがあります。

コミュニティセンター利用
を伴わず、長時間に渡り
駐車される場合は、お手数で
すが、コミュニティセンター
へ声を掛けて頂きますよう
にお願いします。

申し訳ありませんが、ご協
力よろしくをお願いします。

おばあちゃん世代の方が「だ
し巻き卵」と、「かめかめ大
豆」のレシピを伝授。
核家族化にて、家庭料理
を学ぶ機会の減ってしまっ
た
昨今、こうした交流の場を
もっと増やして行かなけれ
ば
と思います。



三世交代交流会

12月6日（金）ふれあいサロン「シロヤシ
オ」の皆さん12名と乳幼児学級「すくすく
クラブ」の親子の皆さん12組が食文化を通
じたふれあい交流会を開催しました。
当日は、若いお母さんたちに、

お詫びと訂正
広報ひがしの NO136号文芸欄に掲載の
花無山文化祭句会 市川芳子さんの句に誤りが
ありました。
掲載句 熱せしは鳥に残して柿をもぐ
正しくは 熱せしは鳥に残して柿をもぐ
お詫び申し上げますと共に、訂正をお願いします。

編集あとがき

ついこの間、平成25年が始まりましたと挨拶
をしたような気がしますが、あつと言う間に平成
26年が始まってしまいました。

年々、一年の経つのが早く感じられる気がしま
すが、年をとるほど時間が早く経つように感じる
この現象を「ジャーナーの法則」と言うそうです。

この法則は、主観的に記憶される年月の長さは
年少者にはより長く、年長者にはより短く評価さ
れるという現象を心理学的に解明したもので、簡
単に言えば生涯のある時期における時間の心理
的長さは年齢の逆数に比例する。例えば、50歳
の人間にとって1年の長さは人生の50分の1
ほどであるが、5歳の人間にとっては5分の1に
相当する。つまり、50歳の人間の10年が、5
歳の人間の1年にあたる。それと子どもの頃は、
毎日が新鮮で初めての経験が多いのですが、年を
重ねるに連れ、同じ事の繰り返しが多くなり、新
鮮さが無くなるのも要因のようです。

今年の干支は「馬」

「馬」は、人との付き合いが古い動物で、
人の役に立ち、大事に扱いました。そして『物
事がうまくいく』『幸運が駆け込んでくる』な
どと言われる、縁起のいい動物です。また、生
まれたての子馬は生後1時間程度でしっかりと
立ち上がり、3時間もしないうちに駆け回るこ
とができるようになることから、『立ち上がり
が早い』『立身出世の象徴』とも言われていま
す。

今年は、『景気』や『成績』が跳ね上がるこ
とを期待しましょう。